

総務課 **節目の20年 次の時代へ歩みをつなぐ**
庄原市制施行 20 周年記念式典

20周年記念式典を新たな出発点として、これまで培ってきた基盤を生かし、次の時代に向けたまちづくりを着実に進めていきます。

顕彰では、亀井さんへ八谷市長から感謝の言葉とともに称号記と名誉市民章が授与され、広島県無形文化財「日本刀製作技術保持者」で無鑑査刀匠の久保善博さん（西城町在住）から、「玉鋼風鈴」が記念品として贈呈されました。

式典の最後に、本市出身で長きにわたり衆議院議員として地域の声を国政に届け、本市の発展に大きく寄与された亀井静香さんへ名誉市民の顕彰を行いました。

には、この20年で培った基盤と経験がある。これを礎にご臨席の皆様ならびに市民の皆様とより一層連携し、前進していく。庄原に関わる人々の未来がつながっていくまちは、これ以上複雑で深刻な課題に直面しているが、本市

八谷市長は式辞で「今日、地方自治体は、人口減少・少子高齢化の進行に加え、社会経済情勢の急激な変化により、これまで以上に複雑で深刻な課題に直面しているが、本市

令和7年3月に市制施行20周年を迎えた本市は、記念すべき年の締めくくりとなる本年3月21日、庄原市民会館で庄原市制施行20周年記念式典を開催しました。
当日は国会議員をはじめとする来賓、市民の皆さんなど約600人が来場。
オープニングでは、本市出身の太鼓奏者・林英哲さんと林さんの弟子である英哲風雲の会・田代誠さんと辻祐さんの3人による太鼓演奏が披露され、大迫力の太鼓の音と振動が大ホール中に響き渡りました。



▲市役所ロビーに額入り写真と表示板を掲示



▲授与された名誉市民章



▲日本刀の作製と同じ工程で作られる「玉鋼風鈴」



▲市民会館大ホールで記念式典を挙行政



▲名誉市民顕彰での記念撮影（左から久保刀匠、亀井さん、八谷市長）



▲オープニングを飾った太鼓演奏



▲式辞で決意を述べる八谷市長